

急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点について

茨城県衛生研究所（2025年3月12日時点）

目的

- 各感染症の患者数や病原体等の発生数を集計し、国内の急性呼吸器感染症（ARI）の発生の傾向（トレンド）や水準（レベル）を踏まえた、流行中の呼吸器感染症を把握すること

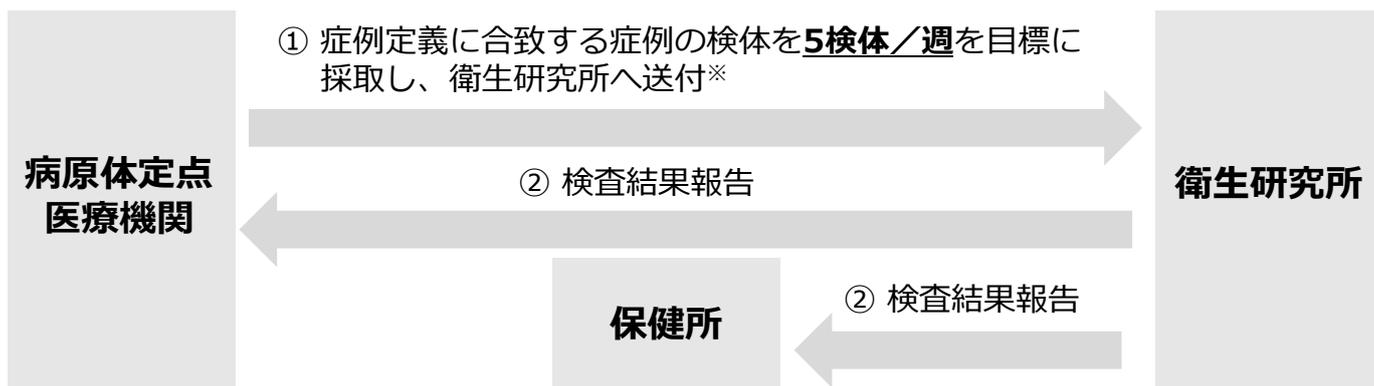
→ **病原体ごとの陽性率を把握し、正しい流行状況を把握する**

これまでの病原体定点では、検査陽性の検体のみを収集しており、陽性率算出に必要な検査実施数が把握困難であったため、ARI病原体定点では医療機関での検査結果を問わず、症例定義に合致する症例の検体を収集する

急性呼吸器感染症（ARI）の症例定義

- **咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例**

急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点のながれ



採取検体

- 鼻咽頭ぬぐい液（推奨）又は鼻腔ぬぐい液
（検体採取方法等詳細については、別紙「病原体定点医療機関の検体の取り扱い」を参照）

衛生研究所での検査項目

- A型インフルエンザウイルス
- B型インフルエンザウイルス
- SARS-CoV-2
- ヒトパラインフルエンザウイルス1~4
- RSウイルスA型/B型
- ヒトメタニューモウイルス
- ライノ/エンテロウイルス
- アデノウイルス

検査結果の還元

急性呼吸器感染症（ARI）病原体サーベイランスの結果については、茨城県感染症情報センターホームページにて公表予定